

みなさん、もしものときの備えはありますか？風水害や地震などの災害が起きたときには、普段からの備えと落ち着いて身を守る行動が必要不可欠です。

また、災害が起こったときの一分一秒を争う状況の中、迅速な避難や被害を少なくするためには、地域での助け合いも重要です。災害から身を守るために必要な3つの力、「自助、共助、公助」を、みなさんで考えてみましょう。

参加者の声

- 防災無線も広報車からの声も聞こえなかった。
これでは情報が伝わらない！
- 備蓄品、いざというときには何が必要？
- お年寄りには避難も大変、近所で助け合う体制が

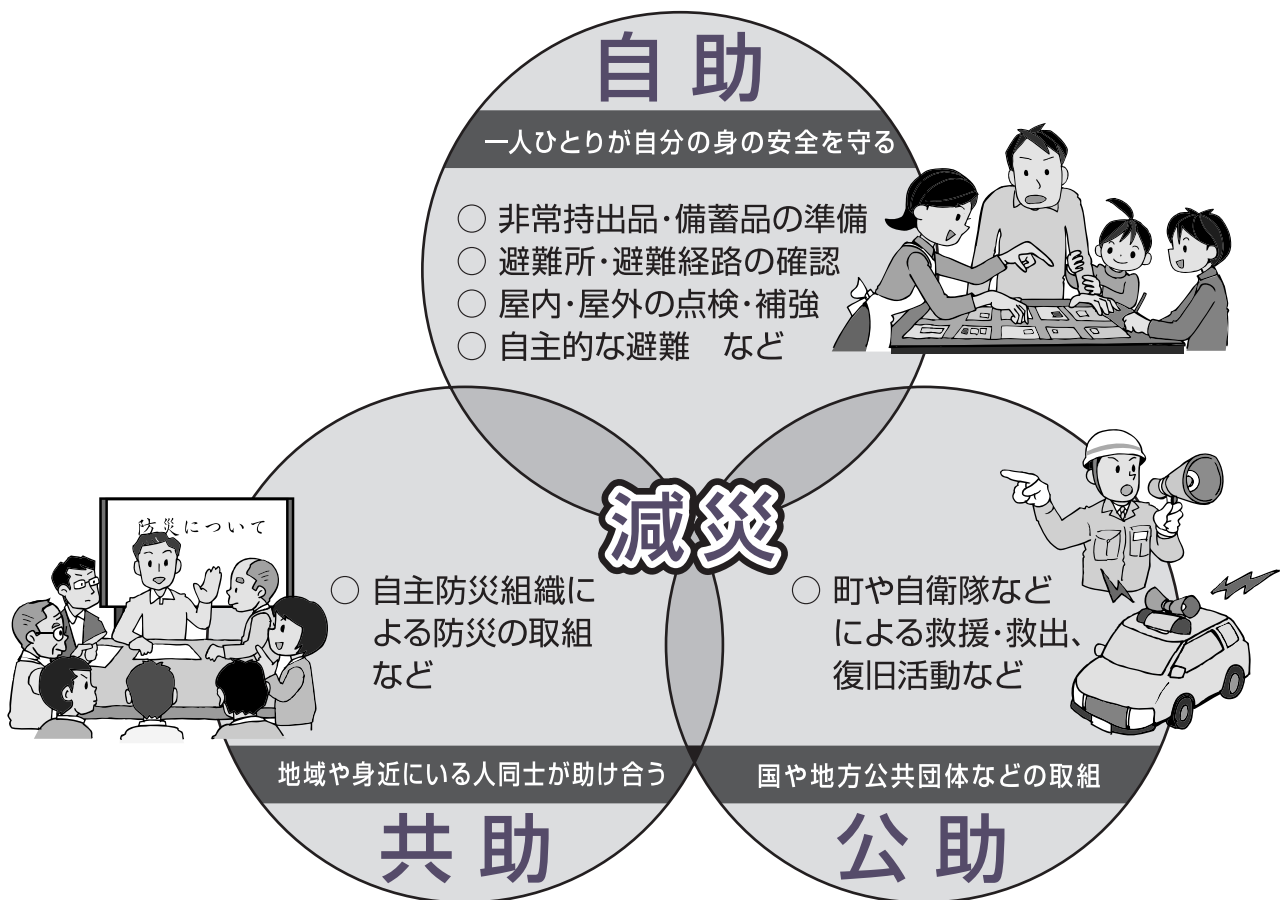
必要では？

- 町内会で連絡体制が大切と感じた。
- 体験会を通して、防災意識が高まった。
- 避難場所って、どこが安全？
- 困った時は、どこに連絡すればよいのか？
- イベントとして終わらせるのではなく、今後も避難訓練を続けてほしい。

では、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか？

「自助、共助、公助」の取り組みが大切です

今回の訓練を通して、参加者が感じたことは、今後の防災を考えるうえで、大きなヒントになります。これらの問題に取り組むことが、災害に備え、被害を軽減するために必要です。



■ 取り組みの内容は、次のページへ